

## 湿気好きのカビはこうして退治

高温多湿の日本は、湿気好きのカビにとってはたいへん住みやすい国です。そのうえに、最近の住まいは湿気がこもりやすいので、カビがふえる条件がますますそろっているといえます。カビはアレルギー性疾患の原因となりますので、家のなかの湿度対策で、カビを退治しましょう。

### 【浴室】

タイルの目地、天井、石けん入れ



### 【居間・寝室】

家具と壁の間、アルミサッシの窓枠、ベッドやマットの下、押し入れのなか、エアコンのフィルター、鉢植えや水槽の近く、北側の壁のすみ



## カビはこんなところにも隠れている

住まいのなかを見回してみても、カビが見あたらないといっても安心はできません。カビは、わたしたちの目の届かないこんなところにも隠れているのです。

### 【台所】

流しの三角コーナー、配水管のまわり、床下の収納



### 【洗面所】

洗面台近くの壁、洗濯機のなか、タオルの裏の壁



# カビ

## 住まいのチェック

### カビが喜ぶことしていませんか？

あなたの住まいをカビから防ぐためには、こまめな湿度対策が大切です。



- 浴室、台所、洗面所、トイレなどは換気扇を利用していますか？
- 換気扇は入浴後すぐに止めていませんか？
- 雨の日に室内で洗濯物を干していませんか？
- アルミサッシや風呂場の結露はこまめにふきとっていますか？

## 部屋ごとにみた結露・カビ対策

カビがふえるのは、室内に「湿度」と「温度」、「栄養」がそろったときです。部屋ごとの特徴をふまえた対策を取りましょう。

### 【居間】

● 壁と家具との間は5cmほど開け、通気をよくする

● エアコンのフィルターは定期的に掃除する

● アルミサッシについた結露はこまめにふきとる  
● 室内に水槽や植物などを置きすぎない



### 【台所】

● 調理や洗い物をすするときは換気扇をまわす

● 調理後は掃除してごみや水分を残さない  
● 三角コーナーの水はよく切る



### 【押し入れ】

● 物を詰め込まず、すき間を開けて通気をよくする



● 床にはすのこを敷き通気をよくする



● 寝具は時々だして乾燥させる

### 【トイレ】

● ロータンクの結露をふきとる



# 結露

### 結露とは

空気が壁やアルミサッシなどで冷やされたとき、空気中の水分が水滴となったものです。結露はカビの発生の大きな原因となります。

### －ロメ

## カビが生えてしまったときは

防カビ剤は、まだカビが発生していないときに使うのが効果的です。もうカビが発生しているときは、掃除をしてもまた生えてしまうことがありますので、次のような方法で定期的に掃除をしましょう。



**水で洗い流せる場合** 浴室など水をかけて洗える場所は、塩素系漂白剤を使って掃除します。塩素ガスが発生しますので、かならず窓を開けて換気扇をまわしましょう。肌が露出しないようゴム手袋をつけ、マスクをしましょう（かならず漂白剤の注意書きを読んでから行ってください）。

**水ぶきをする場合** 漂白剤や洗剤などを薄めた液か、消毒用のアルコールを雑巾にしみこませてふいてください。手にかからないようゴム手袋をしましょう。

## 第2章 快適な住まいをつくろう

### [浴室]

- 入浴後は窓を開け、換気扇をまわし続ける  
(換気扇だけで換気をする場合には、翌朝まで稼働させる)



- 入浴後はカビの栄養になるあかなどを洗い流す



- 入浴時以外は浴槽にふたをする

# 結露

### [洗面所]

- 洗濯機は専用のカビ取り剤で定期的に掃除する



- タオルかけの胸を長くして、タオルの裏と壁のすき間をあける



- 洗面や洗濯でまわりにとびこった水分はふきとる



- 雨の日の洗濯物は、室内に干さず、換気扇をまわして浴室で干す

知っていますか?  
この数字

「75～100%」

カビがよく繁殖する湿度です。湿度が25℃の場合、湿度が66%になると、カビの菌糸の成長は遅くなり、55%では成長がおさえられます。

## 1 point advice

ワンポイントアドバイス

### 加湿器を使うときの注意点

加湿器を使っていると、気づかないうちに湿度が高くなりすぎてしまうことがあります。湿度計を見て50%くらいになったら止めるようにしましょう。また、加湿器の水は毎日とりかえ、タンクも定期的に掃除するようにしましょう。水やタンクにカビが生えたり、細菌が増えてしまうことがあります。

